

《研究課題名》 皮膚疾患でのT細胞分化を調べる

《研究対象者》2010年9月1日から2024年11月30日までに当院にて、皮膚生検、採血によって乾癬(関節症性乾癬、膿疱性乾癬)、円形脱毛症、掌蹠膿疱症と診断され、治療を受けられた方

2010年9月1日から2024年11月30日までに当院にて、皮膚生検、手術によって粉瘤、色素性母斑、脂漏性角化腫、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫、脂腺母斑、血管肉腫と診断され、治療を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究の一部は、対象となる方の診療情報、診療用に採取された血液、皮膚の残余分を用いて行われ、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2029年03月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 皮膚科 荒川明子

(2) 研究の意義、目的について

《意義》ある特定の免疫反応をおこすように活性化したT細胞が炎症性疾患で中心的な働きを示すことがわかっています。特に、乾癬とその類縁疾患、および掌蹠膿疱症ではT細胞の17型反応が、円形脱毛症では1型反応が疾患をおこしていると考えられています。しかしなぜ、T細胞が17型、1型に反応するようになるのか、その原因はわかりません。

《目的》本研究では、乾癬とその類縁疾患、および掌蹠膿疱症、円形脱毛症、それぞれの疾患患者さんの皮膚と血液の中のリンパ球を調べて、なぜ、T細胞がそのような反応を偏っておこすかの原因を調べ、新しい治療を開発するものになる知識をえることを目的としています。

さらに、炎症性皮膚疾患の患者さんの皮膚リンパ球と比較する目的で、粉瘤、色素性母斑、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫、脂腺母斑、血管肉腫を皮膚生検や手術で切除して診断に使用した結果、腫瘍がなかった皮膚の残余分を使わせていただきます。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

本研究は過去の診療情報から個人情報を含まずにデータを収集し、診断に使用し、残余し保存されている皮膚と血液を使わせていただき、リンパ球を解析し、乾癬と類縁疾患、掌蹠膿疱症、円形脱毛症などの炎症性疾患がおこるメカニズムを調べる研究です。比較の対象として、粉瘤、色素性母斑、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫、脂腺母斑、血管肉腫と診断され、治療を受けられた方の、診断に使ったあとで、もう診療に使うことのない、保存されている皮膚を使わせていただきます。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

乾癬と類縁疾患、掌蹠膿疱症と円形脱毛症の患者さん)医師が電子カルテから下記情報を抽出し、エクセルに記入します。炎症性疾患の患者さんの性別、生年月、年齢、身長、体重、BMI、初診年月、初発年齢、アレルギー素因、疾患の経過、家族歴、併存症/既往歴、治療歴と副作用、治療に対する反応、検査歴、検査の結果、皮膚生検の結果が含まれます。これまでに診療のために採取され、保存されている皮膚と血液を、リンパ球を調べるのに使わせていただきます。

粉瘤、色素性母斑、脂漏性角化症、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫、脂腺母斑、血管肉腫の患者さん)医師が電子カルテから下記情報を抽出し、エクセルに記入します。患者さんの性別、生年月、年齢、身長、体重、BMI、初診年月、初発年齢、アレルギー素因、疾患の経過、家族歴、併存症/既往歴、治療歴と副作用、治療に対する反応、検査歴、皮膚生検の結果が含まれます。これまでに診療のために採取され、保存されている皮膚を、リンパ球を調べるのに使わせていただきます。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又

は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)
にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　：皮膚科学講座・准教授・荒川明子

住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2233　FAX：077-548-2154

メールアドレス： hqderma@belle.shiga-med.ac.jp